

DYNAMIC KYOTO
政策**2024**

- 1** 財政を立て直す
- 2** 交通・住宅改革
- 3** 教育の質を上げる
- 4** 所得を上げる
- 5** 高齢者の生活を支える
- 6** 閉塞感を打ち破る
- 7** 歴史・文化・自然を活かす
- 8** 令和の平安京へ

機関紙

2023年
12月2日発行

躍動京都

Vol.3

躍動、京都は上記の見解を発表しました



若い力で
京都を変える。

躍動京都

躍動京都
京都市政改革担当
二之湯真士

躍動京都

ごまかしのない
政治へ。

京都市政 大転換。

平和を祈る平安京に始まり、今なお、世界中の人々を惹きつけ、愛される京都。

しかしその力は、市民の豊かさに繋がっているか？

門川市政は、

財政危機で不安と不満。

観光客優先と市民サービスカットで、人々が流出している。しがらみに囚われ、多くの市民の期待に応えられていない。

そうした政治が続いてはいけない！

ごまかしのない

市民に寄り添う勇気と希望を与える政治へ

思いやりと慈しみに溢れる京都へ

老若男女すべての人に役割と居場所がある京都へ

伝統のうえに最先端の暮らしがある京都へ

世界の叡智を結集し、平和の実現に貢献する京都へ

さあ、物心ともに豊かな京都を一緒につくろう！

1

財政を立て直す

未来を創るため財政を早期正常化。市民サービスを削減せずムダな支出をカット！
国際的な京都ブランドを税収の増加に繋げる！

京都市政改革担当
二之湯真士

府と市が同じ仕事をする二重行政のムダをやめる デジタル化を進め市役所の業務効率を高める 市民に負担を求めない宿泊税引き上げで財源確保

- 本来なら都道府県の業務である特別支援学校などを府へ移管
- 少子化と私学の経営難をふまえて、市立高校を整理し、跡地を公園・グラウンドや体育館・アトリエや舞台・オフィスなどとして活用することを検討
- デジタル化などの業務改善を進めて、庁舎外に借りている執務スペースを全廃し、賃借料を削減
- 宿泊税を大幅に引き上げ、公共交通の充実やスマートゴミ箱^{※1}設置などで市民に還元
- 建設費の地元負担が巨額に上る（京都全体で数千億円とも）北陸新幹線「小浜-京都」大深度地下ルートを再検討

※1.「スマートゴミ箱」IoT技術を活用し、設置コスト低減やごみ回収効率の向上を目指すゴミ箱



2

交通・住宅改革

観光と市民生活の共存を図る!公共交通の充実と子育て世代が求める住宅の確保で住みよい地域を広げる

京都市政改革担当
二之湯真士

宿泊税を増額し、交通事業の拡充に活用 交通政策と住宅政策の一体的な見直し 中長期的な市全体の利益から市営住宅の見直し

- LRT^{※2} または高度なバスシステムの整備。周辺の社寺などに資金的協力を求める(五条通:東山⇄旧市立芸大、西大路-今出川-東山-北大路の循環)
- 地下鉄の増便で利便性と収益をともに改善
- 市内周辺の交通不便地域における鉄道駅に向かうバスの増便
- 鉄道など公共交通が無い過疎地域におけるライドシェア^{※3}の導入を検討
- 国・京都府と協力し国道1号・9号のバイパス整備を推進し、渋滞を緩和
- 借地権・用途地域・接道要件などの課題を解決し空き家になっている住宅の流通・建替えを促進
- 市営住宅の再生を加速し、民間活力による市民のための跡地活用

※2. 「LRT」 乗降の容易性などで優れた次世代型路面電車

※3. 「ライドシェア」 自家用車を使って有償で客を運ぶ



3

教育の質を上げる

「経済格差→教育格差→経済格差」という悪循環を断つ！
塾や習い事に依存しない良質な公教育へ進化。

京都市政改革担当
二之湯真士

個性を活かして生きる力を伸ばす教育へ 子育て世代の教育費支出を抑える 多様な子ども達にしっかりと寄り添う

- 幼保一元化を進めて、住居に近い第1希望への全入園を目指す
- 幼児教育・保育の現場で働く方々の処遇改善を検討
- 学童保育拡充と中学校給食の早期実現。小学校給食費の値下げを検討
- 教育現場に専門人材を多数起用し、多くの目で個性を見出し伸ばす義務教育へ進化
- スクールソーシャルワーカー^{※4}の配置を増やし、子どもの心に寄り添う教育環境を充実させる
- インターナショナルスクール(国際学校)を設置し、世界に通用する人材を育成

※4.「スクールソーシャルワーカー」問題を抱える児童・生徒を取り巻く環境へ働きかけたり、関係機関等との連携・調整を行ったりする人



4

所得を上げる

構造転換の遅れ、人手不足、事業継承などに向き合い、
「国際ブランド」「大学の集積」を活かして強い経済、賃上げを京都から!

京都市政改革担当
二之湯真士

企業業績を上げる専門家を京都に集結

所得向上を後押しする法人市民税の減税を検討

可処分所得向上につながる学費の助成を拡充

- 市営住宅や学校跡地などの市有財産を不足するオフィスビルに活用
- 産業支援機関の一部機能を民営化し、企業支援のプロと共に業績を伸ばす
- 新規事業に挑戦し業績を伸ばした事業者に有利な融資制度の創設
- 私立高校生への学費支援と大学生の奨学金返済助成を府制度に上乘せして拡充する
- 物価高が続く今、行政改革の成果をゴミ袋料金や給食費などの減額で市民に還元
- 106万円、130万円の壁について、根本的な制度改革を国に求める



5

高齢者の生活を支える

2025年 団塊世代全てが75歳以上の超高齢社会に。健康長寿こそ皆の願い。
在宅介護・医療の時代を見据えて、安心と温もりの地域社会を実現する。

京都市政改革担当
二之湯真士

超高齢社会を健康長寿で明るい社会に
健康長寿を維持する交流の場を確保
働く場がない不安と生活できない不安を共に解消

- 地域包括ケアシステムの更なる充実
- 地域密着型の生活支援サービスをする(買い物・移動・掃除など)事業者の育成
- 高齢者を雇用する事業者を支援
- 財政難を理由にカットされた高齢者福祉事業費の復活を検討
- 健康長寿のための介護予防の拠点・居場所づくりを加速



6

閉塞感を打ち破る

人には「こう生きたい」という希望がある。居住地・年齢・性別・障害の有無・国籍を問わず、すべての人が生きやすい社会を目指す

京都市政改革担当
二之湯真士

人権が尊重され自己実現の機会平等を！ 多様な人々の共存で新しい文化創造へ 社会変革に応じて地域社会の仕組みを変える

- 京都府や民間事業者と連携して、女性の活躍を阻んでいる「出産と育児の両立を困難にしている原因」を取り除く
- 総合支援学校における医療・福祉の連携強化、就労支援施設における工賃アップを支援、障害者雇用が促進される入札制度を構築
- 地域行事などを通じて、学生が積極的に地域貢献できる仕組みを構築
- 外国人が生活しやすい日本語表示と、英語で暮らせる環境を整備し、京都を愛する仲間として共生する
- 地域福祉の基礎にある自治会の役割を市民全体で共有し、今後の在り方を検討
- 大都市行政の狭間で苦しむ中山間地域に特別に対応する



7

歴史・文化・自然を活かす

大切な歴史・文化資源の集積と
都市近郊の貴重な自然を活かし市民生活を豊かに。

京都市政改革担当
二之湯真士

**歴史・文化資源や自然を教育や経済活動に活用
活用が不十分な歴史文化資源を磨き上げる
文化庁・京都府・民間と協力し文化力を高める**

- 学校での郷土史学習を通じて、日本史と地域のつながりを再発見し誇りと愛着を深める
- 市民が優先して文化芸術に触れる機会を多数創出
京都市立施設に加えて、国公立や民間にも協力を呼びかける
- 愛宕山や伏見桃山城などの歴史文化資源の活用で観光客の分散化と地域活性化
- 農林漁業体験などの新たな観光メニューを開発し、市内の自然資源を維持・継承
- 文化庁と連携して「文化と経済の好循環」を実現し、文化・芸術人材の定着を図る



8

令和の平安京へ

京都市だけでなく周辺市町との共存共栄を目指す。平和を祈った平安京から始まる京都市として、戦争や飢餓の無い平和構築に貢献。

京都府全体の発展が京都市の発展になる

京都市が蓄積する宗教・学術の力を総動員

戦争や飢餓の解決など世界平和に京都市が積極的に貢献

- 周辺市町と今後の産業・文化・交通・上水道などの在り方を協議し京都都市圏を構想
- 関西文化学術研究都市と市内学術機関や経済団体などとの連携を強化し、次世代型産業を育成
- 世界の叡智を集結する「京都世界平和会議」を創設し、世界平和に貢献
- 食料安全保障の観点から、循環型の有機農業を普及・促進
- 世界平和を目指す姉妹都市との交流事業に多くの市民が参加できるよう改善



1979年京都生まれ西院小・西院中・山城高・早稲田大卒。

2007年京都府議会議員（京都市右京区）初当選、5期目。

京都府議会第72代副議長歴任（戦後最年少）、妻・子3人。

自然幼稚園理事、太秦小PTA会長、（一財）響の都オペラの祭典専務理事、イベント学会所属、少林寺拳法初段。父は二之湯智（元国務大臣・元国家公安委員長）

政策の詳細はこちら



躍動京都
京都市政改革担当
二之湯真士